

平成26年度発がん性評価について (IARC2B以上相当抜粋)

参考資料5-2

No.	番号	CAS No.	物質名	評価機関	評価結果	評価年	動物試験文献 (「#」は個票の文献番号 年次は公表年次)					検討結果 (IARC 1-2B相当→○, 2B相当ではない→×, 判断できない の3つに区分)									
							#1	#2	#3	#4	#5	判定	追加文献等による判定理由	文献概要							
														文献No.	文献	供試物質	動物種・雌雄	についての試験結果	備考		
1	C-1002	88-73-3	o - クロロニトロベンゼン	IARC	3	1996	1997	1997				○	発がんの十分な証拠	#1	日本バイオアッセイ研究センター2年間経口試験	同左(物質名欄に同じ)	ラット 雌雄	肝細胞癌、肝細胞腺腫	がん原性指針対象物質(H23.10) 変異原性指針対象物質(H13.3) ・指針検討の措置検討会(22.3.6)でリスク評価候補とした(22.7.9の企画検討会で、通知対象物質でないことから、選定せず)		
													#2	マウス 雌雄			肝芽腫、肝細胞癌、肝細胞腺腫				
10	C-2154	135-20-6	アンモニウムN - ニトロソフェニルヒドロキシルアミン	NTP	R	1978	評価書のみ確認					○	発がん性の十分な証拠		NTP評価書 (評価はR: reasonably anticipated to be a human carcinogen)で引用しているNCI Technical Report 100のデータ(1978)	同左 (Cupferron)	ラット・マウス雌雄 (feed, 78週)	blood-vessel cancer (hemangiosarcoma血管肉腫 or hemangioma血管腫)	・NTPは実験動物での十分な証拠があることを根拠にRと評価 ・ラット・マウス雌雄に悪性腫瘍		
																	ラット雌雄 マウス雌 (feed, 78週)	liver cancer (hepatocellular carcinoma肝細胞がん)			
																	ラット雌 マウス雌 (feed, 78週)	carcinoma of the auditory sebaceous gland (耳の皮脂腺のがん)			
																	ラット雌雄 (feed, 78週)	forestomach cancer (squamous-cell carcinoma)前胃鱗状細胞がん)			
																		マウス雌 (feed, 78週)	benign tumors of the Harderian gland(adenoma)ハーダー腺の良性腫瘍		
15	C-1097	409-21-2	炭化ケイ素	ACGIH	A2	2003	評価書のみ確認					○	(IARC 2B以上)		IARC専門家会合で次のように評価された(2014年10月) ・Silicon carbide, whisker 2A ・Silicon carbide, fibrous 2B	-	-	-	・通知対象物質 ・既にIARCで評価済み(モノグラフ111により刊行予定)となっているため、検討対象外		

[illegible]